

# 平成28年度 第1回 帯広市総合計画策定審議会 議事概要

## 1 日時

平成28年 9月 1日 (木) 18時30分～20時30分

## 2 場所

帯広市役所 10階 第5A会議室

## 3 議事概要

### (1)協議事項

#### ・まちづくり通信2016(案)について

事務局より、資料1・資料2に基づいて説明した後、資料3のうち「4-2-3 下水道の整備」までの施策について協議を行った。

委員からの主な意見は、別紙のとおり。

# 平成28年度 第1回 帯広市総合計画策定審議会における主なご意見

別紙

ページ	施策		区分	主なご意見
16	1-1-1	地域防災の推進	「1. 成果指標による判定」	○特定建築物の全件数、そのうちの耐震化件数について、それぞれ教えて欲しい。
16	1-1-1	地域防災の推進	「2. 成果指標の実績値に対する考え方」	○特定建築物より、特定建築物以外の件数の方が多いと思うが、その件数は把握しているのか。 ○特定建築物以外の建物における耐震化の向上についても検討すべきではないか。
18	1-1-1	地域防災の推進	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○先日の台風災害の際、市内の災害状況が分からなくて不安だった。何らかの形で情報発信できないものか。 ○パソコン等を持っていない者もいる。テレビのテロップにて周知するなどの方法についても検討いただきたい。 ○避難所が川の近くで不安だった。避難所は川から離れた所に指定いただきたい。 ○複数の町内会で結成された自主防災組織は、互いの繋がりが少なく、災害時に機能しづらい面があるため、横の繋がりを深める方策を検討いただきたい。 ○災害時においては人命が最重要であるため、安否確認等で必要となる町内会員の住民情報を、町内会長等限られた者に提供することも検討しては如何か。
22	1-1-2	消防・救急の充実	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○課題に「救急搬送者のうち、依然として軽症者が大きな割合を占めており」とあるが、当初は重症だと思って救急車を呼んだものの、結果として軽症だった者は「軽症者」に含まれるのか。その場合、この表現だと、救急車の利用を躊躇することにつながり、その結果、重症に至ってしまうおそれがあるので、この部分の表現を修正すべきではないか。
31	1-2-2	交通安全の推進	「4. 市民実感度調査結果に対する考え方」	○市で、実際に起こった悪い交通マナーの事例を取りまとめ、それを警察や自動車教習所に情報提供し、啓発を図ることにより、抑止効果に繋がるのではないか。
36	1-2-3	消費生活の向上	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○市民実感度において、「あまりそう思わない」「そう思わない」を選んだ者の理由として「相談できる場所を知らない」が一番多くなっていることから、課題に「相談窓口の周知」を追加する必要があるのではないか。
42	2-1-1	保健予防の推進	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○自殺率が高いことが課題とあるが、根拠を数値データなどで示してはどうか。
54	2-2-2	高齢者福祉の推進	その他	○介護予防事業の案内が対象者に郵便で届かなくなっている事例があると聞いている。高齢者に配慮した周知方法が必要ではないか。

# 平成28年度 第1回 帯広市総合計画策定審議会における主なご意見

別紙

ページ	施策	区分	主なご意見
58	2-2-3 障害者福祉の推進	「2. 成果指標の実績値に対する考え方」	○「総合相談窓口の相談件数」が減少しているのは周知不足が原因ではないか。
60	2-2-3 障害者福祉の推進	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○課題にある「サービスの質」の意味するものが不明瞭なので、説明が必要ではないか。
60	2-2-3 障害者福祉の推進	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○今後の取り組み方向に「障害者差別解消支援地域協議会の機能を持った組織を立ち上げ」とあるが、類似の団体は他にもある。どこに相談に行けばいいのかが市民に分かりにくくならないよう、配慮していただきたい。
70	2-3-1 子育て支援の充実	「4. 市民実感度調査結果に対する考え方」	○育児休業制度を導入している事業所に関する記述内容に、導入割合と実数が混在しているが、どちらに主眼を置いているのか。
70	2-3-1 子育て支援の充実	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○市民実感度調査では、「子育てと仕事を両立できる環境が整っていない」とする回答が多い。施策の課題にも、そのことの記述を加えるべきではないか。
80	3-1-1 農林業の振興	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○耕地防風林の植栽数の増加は、林業の振興策の一部でしかないと考える。成果指標を変えられないのは理解するが、課題や今後の取り組み方向においては、耕地防風林の増加だけでなく、もっと広い視点で林業の振興を目指していくべきではないか。
88	3-1-3 商業の振興	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○商店街の方々から、「まちなか歩行者天国」を実施しても、各店舗の利益に寄与しないとの声があった。そのような中で、今後の取り組みが「まちなか活性化懇談会」による機運の醸成だけで良いのか。市の立場としてどこまで関与できるのかと言う問題はありますが、「まちなか活性化懇談会」の実施だけで、商店街の活性化につながっていくのか。 ○「まちなか活性化懇談会」の実施だけではなく、様々な手段を用いて商業者等に働きかけをしていくことは理解するが、外の目から見るとまちなかが非常に寂しいと感じている。
92	3-1-4 中小企業の基盤強化	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○法人数の減少要因として、経営不振により統合や休廃業に至るケースよりも、高齢化や後継者の不足による廃業の方が圧倒的に多いと考える。法人数の増加策としては創業・起業の必要性は認めるが、増やす対策だけでなく、事業承継支援をはじめとした今ある企業を継続させていくための対策も必要ではないか。
96	3-1-5 産業間連携の促進	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○バイオマス産業都市の取り組みに関しても、何らかの記述が必要ではないか。
100	3-1-6 雇用環境の充実	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○地域活性化には若い女性の地元への就職が重要であると言われているが、具体的な取り組みとしてどのようなものが必要であると認識しているのか。

# 平成28年度 第1回 帯広市総合計画策定審議会における主なご意見

別紙

ページ	施策		区分	主なご意見
106	3-2-1	中心市街地の活性化	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○中心市街地に魅力とにぎわいを創出していくためには、北洋帯広ビル跡地や旧イトーヨーカドービルに入居する商業施設が重要であると考えている。行政として支援を行っていただきたい。
110	3-2-2	観光の振興	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○課題の中に「外国人観光客等の増加に伴い多様化する観光客のニーズに対して、地域の魅力を伝えるための環境が十分に整備されていない」とあるが、プロモーションをする環境がないと言う意味なのか。受入環境が整備されていないと言う意味なのか。表現を工夫する余地があると考えます。
116	4-1-1	地球環境の保全	「6. 施策の課題と今後の取り組み方向」	○環境保全の施策であることから、帯広の森や広大な森林を活用したCO2吸収についても検討すべきでないか。
*	—	全体	その他	○成果指標の実績値の年次推移を示すグラフについて、最小値はゼロとするなど、工夫が必要ではないか。
*	—	全体	その他	○成果指標による判定以外に、評価に影響を与えるような別のデータがあり、その取り組みが施策の目標達成に大きく寄与し、成果指標を補えているような場合でも、総合評価は低いままとなるのか。